

七飯町ハイヤー・タクシー運賃負担軽減実証実験、関係者ヒアリング及び町民意見交換会を踏まえた七飯町の考え方

(1) 本町地区における公共交通の考え方

ハイヤー・タクシー運賃負担軽減実証実験（以下「実証実験」という。）は、本地区における交通施策の一つとして一定の有効性があり、町民意見としても継続してほしい意向が強い状況である。

一方で、制度設計を見直すことは、アンケート結果や意見交換会においても挙げられており、1乗車で利用できる枚数や割引金額の設定など、より利用しやすい内容に見直した上で検討することが望ましい。

コミュニティバスなどの定時定路線運行の要望も挙げられているが、七飯町の人口や居住状況を踏まえると、運行時間や運行ルートが多様化が著しく、費用対効果は低いことが想定されるため、局所的な運行について中長期的に検討することが望ましい。

(2) 大川・大中山地区における公共交通の考え方

本町地区と同様に、実証実験の有効性があると判断できる地区であり、本町地区で適用する内容と同様に検討することが望ましい。

(3) 藤城・峠下地区における公共交通の考え方

近隣のバス停や市街地から距離の近い居住者に対しては、実証実験の一定の有効性があると判断できる一方で、利用者数は比較的少ない傾向にあり、ハイヤー・タクシー運賃の負担軽減策のみでは不十分と考えられる。

市街地までの距離が一定程度ある地区のため、後述する大沼地区の取組と同様な週数日の市街地輸送を検討することが望ましく、ハイヤー・タクシー運賃の負担軽減策と組み合わせた施策を検討することが望ましい。

(4) 大沼地区における公共交通の考え方

地区内の移動においては、実証実験の一定の有効性があると判断できる一方で、利用者数は少ない傾向にあり、藤城・峠下地区と同様にハイヤー・タクシー運賃の負担軽減策のみでは不十分と考えられる。

他の地区よりも市街地までの距離があるため、昨年度まで交通事業者が実施していたモビリティを参考に週数日の市街地輸送を検討することが望ましく、ハイヤー・タクシー運賃の負担軽減策と組み合わせた施策を検討することが望ましい。